

研究業績集（2023～2024 年）

1 氏名等

氏名 フリッツ吉川 綾 性別 女性

年齢 生年月日

E-mail アドレス: f_a_kikkawa@yamazaki.ac.jp

2 現職

学部名 動物看護学部 学科名 動物看護学科

職名 准教授 発令年月日 2023 年 4 月 1 日

併任 コンパニオン・アニマル・センター アニマル・メディカル・センター獣医師

3 学歴・学位

(最終学歴) 2003 年 3 月 酪農学園大学大学院獣医学研究科修了
博士 (獣医学)

4 職歴

(2023 年度以降採用者のみ)

1999～2003 年 北海道ハイテクノロジー専門学校「動物行動学」非常勤講師

2000～2003 年 NHK 学園「愛犬と暮らす」添削講師

2003～2004 年 山下動物病院

2006 年 パル動物病院、アテナ動物病院桑名病院

2008 年 (株)Treats (ペットライフアドバイザー)

2008 年～現在 動物行動コンサルティング「はっぴいしているず」

2023 年～現在 ヤマザキ動物看護大学動物看護学部動物看護学科准教授

5 学会

(1) 学会及び社会における活動実績に関する事項

2018 年～現在 日本獣医動物行動研究会幹事

2021 年～現在 日本獣医動物行動研究会執行委員

2018 年～現在 特定非営利活動法人 Human Animal Pairs (理事)

2020 年 獣医動物行動診療科認定医(第 10 号)

2024 年 9 月 日本動物看護学会教育講演

(2) 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文数

(3) 学会賞等・年

(4) 国際学会でのゲストスピーカー歴

(5) 国内学会でのゲストスピーカー歴

(6) 所属学会

日本獣医動物行動研究会、American Veterinary Society of Animal Behavior

6 賞罰

(1) 教育関係の表彰

(2) 感謝状等

(3) その他

7 授業担当(当該年度)

(1) 教育担当科目(科目名、単位数)

2023 年度：動物行動学 2 単位、動物内科看護学 2 単位

2024 年度：動物行動学 2 単位

(2) 分担科目(科目名、単位数)

2023 年度：動物内科看護学実習Ⅱ 2 単位、動物臨床看護学総論 2 単位、動物病院実習 2 単位、動物人間関係学特論 2 単位、動物人間関係学演習 1 単位、応用動物人間関係学Ⅱ 2 単位、応用動物人間関係学演習Ⅱ 1 単位

2024 年度：動物内科看護学 2 単位、動物内科看護学実習Ⅱ 2 単位、動物看護総合実習 2 単位、動物人間関係学特論 2 単位、動物人間関係学演習 1 単位、応用動物人間関係学Ⅱ 2 単位、応用動物人間関係学演習Ⅱ 1 単位

8 現在の主要な研究課題

課題名：1.犬猫の問題行動の予防について

2.シニア動物の問題行動とその評価方法について

3.慢性ストレスの非侵襲的評価方法について

9 教育業績、研究業績、社会貢献、法人・大学運営に関する事項

(1) 教育上の実績に関する事項(作成した教科書、教材)

(2) 職務上の実績に関する事項(特許等：発明の名称、公報種別、特許番号等)

(3) 外部研究資金(競争的資金)の受入

1) 各省庁及び各種財団等の補助金；

区分

課題番号

代表者

研究課題名

金額(年度配分額)

2) 奨学寄附金；

研究課題名

金額(年度配分額)

3) 受託研究；

研究課題名

金額(年度配分額)

4) その他；

研究課題名

金額(年度配分額)

(4) その他(産学官連携等に関する事項を含む)

1 0 著書、論文、学術発表の実績に関する事項(本人については下線で示す)

(1) 著書：

・辻本元（編集），小山秀一（編集），大草潔（編集），中村篤史（編集），フリッツ吉川綾他：犬の治療ガイド 2020 私はこうしている,EduwardPress,2020 年,p1086-1090

・辻本元（編集），小山秀一（編集），大草潔（編集），中村篤史（編集），フリッツ吉川綾他：猫の治療ガイド 2020 私はこうしている,EduwardPress,2020 年,p 843-847

(2) 欧文論文

Aya Kikkawa, Yoshiko Uchida, Tetsuya Nakade, Kiyoshi Taguchi : Salivary

Secretory IgA Concentrations in Beagle Dogs., Journal of Veterinary Medical Science. 65(6), p.689-693, 2003 年

Aya Kikkawa, Yoshiko Uchida, Yoshinori Suwa, Kiyoshi Taguchi : A Novel Method for Estimating the Adaptive Ability of Guide Dogs Using Salivary sIgA., Journal of Veterinary Medical Science. 67(7), p707-712,2005 年

Tetsuya Nakade, Yoshihiro Tomura, Kazuo Jin, Hiroyuki Taniyama, Mutsuki Yamamoto, Aya Kikkawa, Kunitaro Miyagi, Eiji Uchida, Mitsuhiko Asakawa, Takeshi Mukai, Masahiko Shirasawa and Mamoru Yamaguchi : Lead Poisoning in Whooper and Tundra Swans., Journal of Wildlife Diseases: January,41(1), p. 253-256.,2005 年

(3) 和文論文

柳いくみ,前原誠也,吉川綾,内田佳子：視覚を喪失した犬 15 例の経時的行動変化と飼い主の意識調査, 日本小動物獣医学会誌 64, p51-55,2010 年

(4) 財団・調査等研究報告、大学紀要・研究所報告、文部科学省科学研究費補助金による報告書、その他それに準ずる定期刊行物

(5) 総説、解説、翻訳、論文形式を除くその他(国内定期刊行物、商業誌等)

(原著) Gary M. Landsberg, Debra F. Horwitz, (監修) 武内ゆかり, (共訳者) 藤井仁美,吉川綾,橋爪千恵 : Practical Applications and New Perspectives in Veterinary Behavior (サンダースベテリナリークリニックスシリーズ4-5 動物病院における獣医行動学の適用と展望) ,インターズー,2009年

(原著) Debra F. Horwitz & Jacqueline C. Neilson, (監修者) 武内ゆかり,森裕司, (共訳者) 五十嵐和恵,入交眞巳,臼井玲子,内田恵子,内田佳子,尾形庭子,吉川綾,佐藤昭司,高倉はるか,武部正美,立松誠,橋爪千恵,水越美奈 : Blackwell's Five-Minute Veterinary Consult Clinical Companion Canine & Feline Behavior (小動物臨床のための5分間コンサルト犬と猫の問題行動 診断・治療ガイド) , インターズー,p99-104,124-128,150-157,221-224,251-254,2012年

フリッツ吉川綾 : 新型コロナウイルス感染症による活動自粛が飼い主、ペット、および人と動物の絆に与えた影響 (スペイン) , Veterinary Board,29, Eduward Press,2021年

フリッツ吉川綾：心理的ストレスによる過剰な舐性行動で毛球の腸閉塞を生じた猫の症例, MVM,201,ファームプレス,2022年

フリッツ吉川綾：行動治療により改善した猫の異嗜および特発性膀胱炎による下部尿路症状, Veterinary Board,(No34),Eduward Press,2022年

フリッツ吉川綾：実践の「前」に考える!犬と猫の行動変化とシニアケア 認知症とは,動物看護,404,16-20,2023年9月

(6) 学術講演、学会報告

吉川綾,内田佳子,諏訪義典,中出哲也,田口清：イヌ唾液中sIgA濃度の盲導犬適性判定への応用, ヒトと動物の関係学会,(No34),2003年

吉川綾,小澤真希子,内田佳子,内田恵子：恐怖刺激を制限した動物病院環境の検討, 動物臨床医学会年次大会プロシーディング,32(3),p61-62,2011年

フリッツ吉川綾：クリニカルレクチャー：問題行動の予防 診察時の動物のストレスサインを見逃さない!, 日本臨床獣医学フォーラム年次大会プロシーディング,14(2),p86-87,2012年

フリッツ吉川綾,服部真澄：預かりにて旋回行動と攻撃行動を治療した保護犬の一例, 動物臨床医学会年次大会,2018年

フリッツ吉川綾,服部真澄,猪野わかな：保護犬の問題行動治療：譲渡に関する課題, 日本獣医内科学アカデミー学術大会,2019年

フリッツ吉川綾,服部真澄,茂木千恵：常同障害にフルオキシセチンとカンナビジオール（CBD）を併用した猫の一例, 日本獣医内科学アカデミー学術大会,2021年

Chie Mogi, Aya Fritz Kikkawa, Mika Katsumata, and Shinichiro Hata : Environmental factors affecting problem behaviors in dogs in multi-dog households., 54th International Congresss of International Society for Applied Ethology,2021年

北村優,赤木東吾,フリッツ吉川綾,伊藤裕行：誤食を主訴に来院した犬の傾向, 動物臨床医学会年次大会プロシーディング43,2,p7-10,2022年

フリッツ吉川綾：臨床行動学～臨床現場で働く愛玩動物看護師への期待～日本動物看護学会第33回大会,2024年

1 1 社会貢献の実情に関する事項

- (1) 非常勤講師(大学)：大学名、科目名、単位数
- (2) 講師派遣：派遣名称、派遣先名称、テーマ、日時、場所
- (3) 市民大学：テーマ、時間数、開講年度、開講場所
八王子学園都市大学いちょう塾公開講座, 犬猫の心理学～犬猫のこころと行動習性に寄り添って～,2024年6月6日,学園都市センター
- (4) 各種委員会・審議会等の委託：委員会等の名称
- (5) その他(高校生セミナー、小・中学校での講演、地域シンポジウムへの参加等)
2023年10月21日 立川女子高校 S プロジェクト「動物看護学講座」,ヤマザキ動物看護大学
2024年9月7日 クラーク記念国際高等学校高大連携事業「動物行動学」,ヤマザキ動物看護大学
行動診療,一般診療,犬のトレーニング,院内外講義：パル動物病院,なないろ動物病院,荻谷動物病院

1 2 法人・大学運営の実績に関する事項

- (1) 役員・評議員に関する事項(法人)：役職名
- (2) 各種委員会に関する事項(法人)：委員会名
- (3) 各種委員会に関する事項(大学)：委員会名
2023年度：入学試験委員会、教務委員会、動物病院実習部会、学生委員会
2024年度：入学試験委員会、教務委員会、動物病院実習部会、学生委員会、図書委員会、紀要編集部会、国試対策委員会
- (4) 広報活動 例)報道発表(プレスリリース)、雑誌への投稿、取材(学外者)の受入、取材監修、ホームページへの発表等：タイトル、媒体、年月日
動物番組の監修,株式会社 TBS テレビ,2024年2月～1年間
犬猫の問題行動とその予防～家族みんなでハッピーをめざして～,講習会講師,東

京都保健医療局, 2024 年 10 月

(5) その他

2023 年：クラスアドバイザー (1B)

2024 年：クラスアドバイザー (2B)